

平成30年度 第1回外部評価委員会

事務事業評価・年次事業評価シート

事務事業評価シート(対象:H29年度実施事業)

事務事業名		商業振興事業		所属コード	1602000		位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 市長公約		
部		市民活力推進部		実施主体		<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他				
施策の柱(章)	4	産業経済・観光		課	商工観光課		継続年数	<input type="checkbox"/> 5年以下 <input type="checkbox"/> 6~10年 <input type="checkbox"/> 11~15年 <input checked="" type="checkbox"/> 16年以上		
大施策(節)	2	魅力あふれる商業づくり		係・担当	商工・企業立地係		根拠法令等	有 [] <input checked="" type="checkbox"/> 無		
基本施策	1	経営安定化の促進		担当者名	横山 道男		内線	332		
予算科目	会計	01	款	7	項	1	目	2	事業	1
事業目的		・地域に密着したイベントや販売促進に結びつく各種事業を支援することにより、商店街の活性化等を促進する。 また、個店に対する経営指導の強化と魅力ある個店づくりを促進する。 ・農商工連携事業に取り組む商業者を支援する。				事業概要		・「商工だより」を発行し、市内事業者へ商工振興に関する情報を提供する。 ・「やしお商業&観光元気UPサイト」を活用し、商業に関する情報を発信する。 ・さくらカード事業費補助金を交付する。		
事業の対象		<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 市民の一部 <input type="checkbox"/> 内部職員				その他		[]		

単位：円		H28決算	H29予算	H29決算	H30予算
事業費(A)		731,940	1,044,000	984,834	927,000
事業費の内訳	委員報酬				
	物件費	416,980	705,000	669,874	488,000
	維持補修費				
	扶助費				
	補助費等	314,960	339,000	314,960	439,000
	普通建設事業費				
財源の内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	その他				
一般財源	731,940	1,044,000	984,834	927,000	
職員数(人/年)	0.23	0.35	0.35	0.35	
職員人件費(B)	1,843,660	3,054,450	2,805,569	3,054,450	
総事業費(A+B)	2,575,600	4,098,450	3,790,403	3,981,450	
人件費率(B/(A+B))	71.6%	74.5%	74.0%	76.7%	
予算執行率(職員人件費除く)	—	—	94.3%	—	

事業の実施状況(見込み)	
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> さくらカード事業に対して補助を行った。 八潮市商工会さくらカード会において、埼玉県の実業であるパパママ応援ショップに取り組み、独自のサービスを提供した。 商工だよりNO.52を発行し、市内全事業所へ情報提供を行った。 八潮市商工会が実施する宅配サービス事業を広くPRした。 枝豆まつりにおいて、農商工連携事業に取り組む商業者をPRした。
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> さくらカード事業に対して補助を行った。 八潮市商工会さくらカード会において、埼玉県の実業であるパパママ応援ショップに取り組み、独自のサービスを提供した。 商工だよりNO.53を発行し、市内全事業所へ情報提供を行った。 八潮市商工会が実施する宅配サービス事業を広くPRした。 枝豆まつりにおいて、農商工連携事業に取り組む商業者をPRした。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> さくらカード事業に対して補助を行う。 八潮市商工会さくらカード会において、埼玉県の実業であるパパママ応援ショップに取り組み、独自のサービスを提供する。 商工だよりNO.54を発行し、市内全事業所へ情報提供を行う。 八潮市商工会が実施する宅配サービス事業を広くPRする。 枝豆まつりにおいて、農商工連携事業に取り組む商業者をPRする。

活動指標名	単位		平成28年度	平成29年度	成果指標名	単位		平成28年度	平成29年度
さくらカード加盟店	店	計画	70	70			目標		
		実績	50	48			実績		
宅配サービス加盟店	店	計画	30	30			目標		
		実績	17	17			実績		

■事業の評価 (H29年度の事後評価)

①必要性の評価		評価者名	山内 修
当該事務事業について市が関与する必要性			
	A:非常に高い	<input checked="" type="radio"/> B:高い	C:ある程度認められる
判断理由	<input type="checkbox"/>	法律、政令、省令、通達等により、市に実施が義務づけられている	
	<input type="checkbox"/>	事業を止めた場合、市民の生命、財産等に大きな影響を与える恐れがある	
	<input type="checkbox"/>	サービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている	
	<input type="checkbox"/>	市が何らかの関与(監督、指導等)をしないと、問題が発生する可能性がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	当該事務事業が解決すべき課題が増えている。増えることが予想される	
	<input type="checkbox"/>	その他	

②目標達成度の評価				
H29年度の目標達成度				
	A:達成した(100%) <input checked="" type="radio"/> B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)			
判断理由	<input type="checkbox"/>	活動指標の目標を達成した	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標を達成した
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務改善方針等の指標に現れない目標を達成した		
	達成できた内容/できなかった内容・理由(必ず記入)			
	活動指標であるさくらカード会への加盟店舗数は目標を達成できなかったが、埼玉県のパパママ応援ショップ事業に協力し、独自のサービスを行っている。また、平成25年度からは、さくらカード会の会員店舗を中心に、埼玉県が新たに実施した「コバトンお達者倶楽部事業」の加盟店となるなど、新たな顧客の取り込みについて努力が重ねられている。			
	<input type="checkbox"/>	その他		

③実施内容・方法の評価		
成果向上やコスト削減のための見直しの余地		
	<input type="checkbox"/> 余地が大きい <input checked="" type="radio"/> 余地がある <input type="checkbox"/> 余地が全くない	
判断理由	<input type="checkbox"/>	民間委託や指定管理者制度の活用などの事業手法を再検討する余地がある
	<input type="checkbox"/>	事業費や人件費などのコストを圧縮する工夫が考えられる
	<input type="checkbox"/>	業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化することが考えられる
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等により、サービスの対象・量・水準を見直すことが考えられる
	<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
	<input type="checkbox"/>	その他

④公平性の評価		
i. 受益者が一部に偏っているか		
	<input checked="" type="radio"/> 偏りがある <input type="checkbox"/> やや偏りがある <input type="checkbox"/> 偏りがない <input type="checkbox"/> 非該当	
ii. 受益者負担の見直しの余地		
	<input type="checkbox"/> 余地がある <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="radio"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 非該当	
判断理由	<input type="checkbox"/>	使用料・手数料等の料金設定を市で行うことができる
	<input type="checkbox"/>	国や県、民間事業者等が同種・類似サービスを提供している
	<input type="checkbox"/>	受益者の負担割合が国等の定めている基準を下回っている
	<input type="checkbox"/>	使用料・手数料等の見直しから5年以上経過している

■計画期間を通じての課題と対応策

課題	評価時点で認識されている問題・課題		
	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input checked="" type="radio"/> 大きな課題がある
課題	大規模小売店舗の進出や、消費者の購買形態の変化等により市内の個店の経営に影響を及ぼしており、地域に密着した個店が減少している。 また、八潮市商工会が実施している「さくらカード事業」や「まごころサービス便」についても伸び悩んでいる。		
考えられる対応策	八潮市商工会さくらカード会が行っているさくらカード事業について利用をしている人が固定化傾向にあるため、メリットをPRして、新規の利用者を増やしていく。 魅力的な個店づくりについて、検討を進め情報発信を行う。		

■総合評価(最終目標に対する進捗状況)

- ☆☆☆: 順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)
- ☆☆: 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)
- ☆: 遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

総合評価	判断理由
☆☆ 概ね順調	市が実施している事業については概ね順調であるが、根本的に個店の減少を食い止める手段について対応が必要となっている。

■今後の方向性(計画期間を通じての方向)

方向性	<input type="checkbox"/> :現状のまま継続	<input type="checkbox"/> :休止・廃止	<input type="checkbox"/> :終了・完了
	<input checked="" type="radio"/> :見直して継続	<input type="checkbox"/> :他事業と統合して継続	
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充)	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善	<input type="checkbox"/> 効率・簡素化 <input type="checkbox"/> その他
経営資源(H30年度比)	事業費	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 削減	
	労働量	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 削減	
今後の実施方針(改善方針)	今後は、地域に密着した魅力ある店舗を増加させるため、従来からの支援策である、八潮市商工会さくらカード会への補助、「商工だより」や「やしお商業&観光元気UPサイト」での情報提供を継続しながら、先進自治体の情報を調査研究し、新たな支援策を展開する。		

事務事業評価シート(対象:H29年度実施事業)

事務事業名		国民健康保険保健事業		所属コード	1306000		位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 市長公約	
部	健康福祉部			実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他				
課	健康福祉・子育て			国保年金課	継続年数	<input type="checkbox"/> 5年以下 <input type="checkbox"/> 6~10年 <input type="checkbox"/> 11~15年 <input checked="" type="checkbox"/> 16年以上			
係・担当	誰もが安心して生活できる社会づくり			保険給付係	根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 [国民健康保険法 他] <input type="checkbox"/> 無			
担当	国民健康保険制度の適切な運用			担当者名	井口		内線	825	
事業の対象	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 市民の一部 <input type="checkbox"/> 内部職員 <input type="checkbox"/> その他 []								
事業目的	・八潮市国民健康保険条例（昭和34年条例第1号）第10条（保健事業）の規定に基づき、被保険者の保健意識を高め、健康増進と医療費の適正化を図る。				事業概要	・特定健診・特定保健指導等の保健事業を行う。 ・適正受診促進のための医療費通知等事務を行う。 ・疾病予防、重症化防止のため、保健センターで実施しているがん検診等の検診費用の一部負担金相当分の補助事業を行う。 ・脳ドック受診費用の一部補助金交付事業を行う。			

単位：円	H28決算	H29予算	H29決算	H30予算
事業費 (A)	96,189,128	122,628,000	100,627,096	120,271,000
事業費の内訳				
委員報酬				
物件費	90,391,915	113,617,000	94,916,075	111,083,000
維持補修費				
扶助費				
補助費等	5,797,213	9,011,000	5,711,021	9,188,000
普通建設事業費				
その他				
財源の内訳				
国庫支出金	14,656,000	13,493,000	13,493,000	0
県支出金	14,876,000	16,347,000	14,284,000	24,856,000
市債				
その他				
一般財源	66,657,128	92,788,000	72,850,096	95,415,000
職員数 (人/年)	0.80	0.65	0.65	0.65
職員人件費 (B)	6,412,729	5,672,550	5,210,342	5,672,550
総事業費 (A+B)	102,601,857	128,300,550	105,837,438	125,943,550
人件費率 (B/(A+B))	6.3%	4.4%	4.9%	4.5%
予算執行率 (職員人件費除く)	—	—	82.1%	—

事業の実施状況 (見込み)	
平成28年度	八潮市国民健康保険条例（昭和34年条例第1号）第10条（保健事業）の規定に基づき、被保険者の保健意識を高め、健康増進と医療費の適正化を図った。
平成29年度	八潮市国民健康保険条例（昭和34年条例第1号）第10条（保健事業）の規定に基づき、被保険者の保健意識を高め、健康増進と医療費の適正化を図った。
平成30年度	八潮市国民健康保険条例（昭和34年条例第1号）第10条（保健事業）の規定に基づき、被保険者の保健意識を高め、健康増進と医療費の適正化を図る。

活動指標名	単位		平成28年度	平成29年度	成果指標名	単位		平成28年度	平成29年度
特定健康診査受診率	%	計画	55	60	メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率 (H20年度比)	%	目標	25	25
		実績	37				実績		
特定保健指導実施率	%	計画	55	60			目標		
		実績	7.9				実績		

■事業の評価 (H29年度の事後評価)

①必要性の評価		評価者名	河合 景子
当該事務事業について市が関与する必要性			
● A:非常に高い		■ B:高い	□ C:ある程度認められる
判断理由	■	法律、政令、省令、通達等により、市に実施が義務づけられている	
	■	事業を止めた場合、市民の生命、財産等に大きな影響を与える恐れがある	
	■	サービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている	
	■	市が何らかの関与(監督、指導等)をしないと、問題が発生する可能性がある	
	■	当該事務事業が解決すべき課題が増えている。増えることが予想される	
	■	その他	

②目標達成度の評価				
H29年度の目標達成度				
A:達成した(100%)				
■ B:概ね達成できた(80%以上)				
● C:達成できなかった(80%未満)				
判断理由	■	活動指標の目標を達成した	■	成果指標の目標を達成した
	■	業務改善方針等の指標に現れない目標を達成した		
	達成できた内容/できなかった内容・理由(必ず記入)			
	特定健康診査受診率、特定保健指導実施率においては、活動指標の80%未満であった。			

③実施内容・方法の評価			
成果向上やコスト削減のための見直しの余地			
■ 余地が大きい			
● 余地がある			
□ 余地が全くない			
判断理由	■	民間委託や指定管理者制度の活用などの事業手法を再検討する余地がある	
	■	事業費や人件費などのコストを圧縮する工夫が考えられる	
	■	業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化することが考えられる	
	■	社会情勢やニーズの変化等により、サービスの対象・量・水準を見直すことが考えられる	
	■	成果を高める工夫が考えられる	
	■	その他	

④公平性の評価			
i. 受益者が一部に偏っているか			
■ 偏りがある			
● やや偏りがある			
□ 偏りがない			
■ 非該当			
ii. 受益者負担の見直しの余地			
● 余地がある			
■ 余地がない			
□ 受益者負担がない			
■ 非該当			
判断理由	■	使用料・手数料等の料金設定を市で行うことができる	
	■	国や県、民間事業者等が同種・類似サービスを提供している	
	■	受益者の負担割合が国等の定めている基準を下回っている	
	■	使用料・手数料等の見直しから5年以上経過している	

■計画期間を通じての課題と対応策

評価時点で認識されている問題・課題	
■ 課題はほとんどない	
● ある程度課題がある	
□ 大きな課題がある	
課題	特定保健指導実施率は目標値よりかなり低い状況であるが、年々低下してきていたのが、少しずつ上昇傾向にある。一方特定健康診査受診率は、県平均(38.9%)を下回る結果となり、被保険者の保健意識を更に高める対策を講じる必要がある。
考えられる対応策	広報紙等を利用し、特定健康診査等の重要性を被保険者に周知し、特定健康診査等の実施率の向上に努める。また、糖尿病などの生活習慣病重症化予防といった保健事業の更なる充実に努める。

■総合評価(最終目標に対する進捗状況)

- ☆☆☆: 順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)
- ☆☆: 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)
- ☆: 遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

総合評価	☆☆ 概ね順調	判断理由
		特定保健指導実施率は目標値よりかなり低い状況であるが、年々低下してきていたのが、少しずつ上昇傾向にある。一方特定健康診査受診率は、県平均(38.9%)を下回る結果となり、受診率向上対策を強化する必要がある。

■今後の方向性(計画期間を通じての方向)

方向性	□ :現状のまま継続	■ :休止・廃止	□ :終了・完了	
	● :見直して継続	□ :他事業と統合して継続		
	→ ■ 重点化(拡充)	■ 手段を改善	□ 効率・簡素化	
経営資源(H30年度比)	事業費	● 増加	□ 現状維持	□ 削減
	労働量	● 増加	□ 現状維持	□ 削減
今後の実施方針(改善方針)	当該事業の成果指標であるメタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率の達成に向け、特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上に向け「埼玉県コバトン健康マイレージ事業」への参加などの実施率向上対策事業への取組みを進める。また、糖尿病などの生活習慣病重症化予防にも取り組み、被保険者の健康維持・増進に努める。			

年次事業評価シート（指定管理者の業務に係る事業の評価）

【施設の概要】

所管課名	市民活力推進部 市民協働推進課
施設名	八潮市立コミュニティセンター
施設所在地	八潮市大字八條665
設置の目的	地域住民の間に連帯感を醸成し、心豊かなコミュニティ形成を促進するため
指定管理者	社会福祉法人 八潮市社会福祉協議会
指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日
評価期間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日
指定管理者に求めるもの	民間事業者も含めた団体の活力や柔軟な発想を活かし、これまで以上に利用者本位の柔軟なサービスを提供し、効率的な経営の推進を図ること。

【指定管理者が行う主な業務の内容】

- (1) センターの利用の許可に関する業務
 (2) センターの設置の目的を達成するため必要な事業の計画及び
 (3) センターの施設及び設備の維持管理に関する業務

【管理経費の収支状況】

		直営最終年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29-H28)
収入(円)	管理料	-	10,433,000	10,458,000	25,000
	利用料金収入	-	0	0	0
	その他	-	1,346,431	795,759	▲ 550,672
支出(円)	運営費	-	6,716,057	5,250,781	▲ 1,465,276
	人件費	-	1,843,931	1,912,960	69,029
	維持管理費	-	2,430,184	3,326,298	896,114
収支(円)		-	789,259	763,720	▲ 25,539

※詳細は別添「自己評価表」参照

【施設の利用状況】

	平成28年度	平成29年度	比較
開館日数(日)	338	341	3
来館者数(人)	7,950	8,920	970

※詳細は別添「自己評価表」参照

【活動指標】(事務事業評価から引用)

	単位		平成28年度	平成29年度
延べ利用者数	人	計画	7,497	7,950
		実績	7,950	8,920

【成果指標】(事務事業評価から引用)

	単位		平成28年度	平成29年度
利用率	%	計画	8	9.2
		実績	9.2	10.2

【利用者満足度調査結果】(抜粋)

	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	未回答	合計
指定管理者に対する評価(総合評価)(人)	29	29	19	1	6	84
割合(%)	34.5%	34.5%	22.6%	1.2%	7.1%	100.0%
利用者満足度指数	4		※非常に不満との回答は0人			

【サービスの向上】(指定管理者が運営を行うことによりサービスが向上したものについて記述)

地域コミュニティ形成の促進及び交流の場の提供として健康体操教室や料理教室などの講座を実施した。

【年次事業評価結果】

※評価が「C」の場合は、その改善策等の特記事項に記入する。

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
①開館時間				
開館予定日、開館時間は守られているか	開館日数、時間数が守られていたか関係書類により確認する	開館日数341日 臨時休館(7/8、8/12、1/4) 土日及び夜間はシルバー人材センターに委託	B	
②管理執行体制に関する事項				
業務を遂行するための必要な職員は確保されているか	職員の配置を就労関係書類などにより確認する	職員配置表により確認。 (職員：4人、内正規職員1人、臨時職員3人)	A	老人福祉センターすえひろ荘と兼任
業務の処理に適した執行体制や処理過程におけるチェック機能が確保されているか	体制の状況について現状を確認する 業務処理を確認できる各種規定などにより確認する	職員配置表に基づいて業務を行っている。	A	
業務に従事する職員は、関係法令を遵守しているか	研修会の開催等関係書類により確認する	事業所における職場内研修を実施している。	A	
③個人情報の保護				
八潮市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱われているか	条例違反の有無について関係書類やヒアリングにより確認する	・条例違反は確認されていない。 ・社会福祉法人八潮市社会福祉協議会個人情報保護規程が整備され、適正に取り扱われている。	A	
個人情報の管理及び取り扱いに係るマニュアル等の作成がなされているか	作成状況及びその内容について確認する	社会福祉法人八潮市社会福祉協議会個人情報保護規程が整備されている。	A	
④利用者への対応及びサービス等の向上				
事業計画に基づいた行事は行われているか	関係書類等により確認する	年次協定による事業計画書と実績報告により確認している。	A	
利用者へのアンケート調査などを実施し、自己分析や業務改善を行っているか	関係書類等により確認する	・期間：平成30年1月30日～2月24日 ・回答数：84件 ・利用者アンケートの結果に基づき適正な分析が行われている。	A	
市民からの苦情等のトラブルの対応は適切に行われているか	関係書類等により確認する	適切に対応している。	A	
職員育成のための研修は行われているか	関係書類等により確認する	事業所における職場内研修を実施している。	A	

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
⑤利用許可業務				
利用料金は適正に設定されているか	利用料金が市と協議した設定となっているか確認する	八潮市立コミュニティセンター設置及び管理条例条例により設定されている。	A	
利用料金の減免の手続きは適正に行われているか	関係書類等により確認する	減免 66件 減免対象：町会、八潮市、社会福祉協議会	A	
利用料金の徴収は適正に執行されているか	利用料金の徴収が適正に執行されているか確認する	毎月の利用料金徴収報告及び埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム（まんまるよやく）で適正に執行されている。なお、滞納はない。	A	
利用者の公平な選考を行っているか	事業計画及び関係書類により現状を確認する	埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム（まんまるよやく）による抽選機能で公平に利用者を選考している。	A	
⑥施設設備及び物品の維持管理				
各部の施設維持管理が良好な状態に維持されているか	正常に維持されているか、保守点検や修繕の状況について関係書類及び現状を確認する	第三者委託業務承認申請書にある委託業者により適正に管理されている。	A	
施設の改修・修繕は市と協議の上で行われているか	修繕の箇所、経緯について関係書類を確認する	修繕については市と協議を行い実施している。	A	
施設の保安管理が適切に行われているか	施設の警備状況について関係書類及び現状を確認する	第三者委託業務承認申請書にある委託業者により適正に管理されている。	A	
清掃業務等が適切に行われているか	業務範囲が的確に処理されているか関係書類により確認する	第三者委託業務承認申請書にある委託業者により適正に管理されている。	A	
安全衛生管理に配慮した業務運営、管理がされているか	施設の安全衛生管理の状況について関係書類及び現状を確認する	年1回、職員健康診断を実施。	A	
物品（備品）の管理は適切に行われているか	台帳により確認	備品台帳により適正に管理されている。	A	

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
⑦経費の執行管理				
経費を効率的に運用する工夫はされているか	関係書類やヒアリングにより確認する	こまめな消灯・空調切替を行い、無駄なエネルギー消費を抑えている。	A	
経費を適正に執行管理するための体制が確保されているか	体制の状況について現状を確認する	経費の執行は決裁規程に基づいており、体制が確保されている。	A	
資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか	経理内容について帳簿及び関係書類により確認する	経理内容について具体的な記載があり、明確化が図られている。	A	
経費に係る経理規程等の整備が行われているか	作成状況及びその内容について確認する	社会福祉法人八潮市社会福祉協議会経理規程を整備している。	A	
⑧その他の事項				
業務の一括委託などは行われていないか	委託契約書等の関係書類で確認する	第三者委託業務承認申請書により確認している。	A	
賠償保険に加入しているか	保険証書等により賠償保険の保険内容等を確認する	保険証書により賠償保険の内容を確認している。	A	
【指定管理者自己評価及び業務改善に向けた分析】				
(1) 指定管理者自己評価				
施設の老朽化により、外壁等の大規模修繕が必要と思われる。 利用者から強い要望があり、空調設備について早急の入れ替えが必要である。				
(2) 業務改善に向けた分析				
施設の整備、修繕について予算の範囲内で改善していく。 また、職員の対応についても利用者に満足していただけるよう努める。				
【所管課所見】				
協定書に基づきコミュニティセンターの設置目的を理解し、適正に運営されている。 自己分析、事務改善を進め、今後さらに利用者ニーズに応じた運営展開を行う事を望む。				総合評価
				A